

# 福祉現場の声を聞いて



県に要望する福祉保育労の組合員ら(右側)とゆり子県議(正面左端) = 14日、県庁

## 福祉保育労組が県に要請

14日、福祉関係の労働者で構成された全国福祉保育労働組合山形地方本部が、県に福祉要望書を提出し、私も同席しました。内容は、保育所、学童保育、児童養護施設、救護施設、特別養護老人ホーム、障がい者施設などに働く現場からの要望で、多岐にわたり、それぞれ担当者から回答を得ました。

### 「子ども・子育て新システム」について

保育士さんからは、「国と自治体の責任を後退させるような保育制度改革はやめてほしい」として、これまで積み上げてきた集団保育の良さが壊される懸念や、不安定雇用のもと、経済的に困窮して保育を切実に必要としている世帯が利用できなくなる心配が語られました。



また、「これほど大きな問題があるのに、『新システムの内容について、よくわからない』と言う保護者の方が多い」と現状を訴え、「安易な待機児童対策でなく、認可保育園増設を進めてほしい」の要望が出されました。



2011年1月23日  
第112号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

県当局は、「保育現場や保護者に不安があることは十分認識している。新システムについては、民主党が推進しているが、内容は流動的である。全国知事会のプロジェクトチームでも国へ提案しているが、山形県は、皆さんの要望もあり、保育分野の規制緩和特区には名を連ねていない」、「待機児童解消は、安心子ども基金を活用し、この間、保育所増設を図ってきている」と答えました。

### 介護保険、高齢者に関して

高齢者施設の現場からは介護・福祉職員の低賃金の改善要望と国の動向について質問が出されました。

当局からは、「厚生労働省で審議されているが、処遇改善交付金は平成23年まで、その後は介護報酬で対応する方向が出されている。介護保険料との兼ね合いもあり、公費負担引き上げの意見もあると聞いています」と答えました。参加者からは、「保険料が上がらないよう、国でもつ

## 日本共産党演説会



市田忠義書記局長  
・参議院議員

2月20日 日  
午後2時～  
県民会館大ホール

と負担してほしい」の声をあげました。

このほか、非虐待児童や発達障がい児などの対応が必要な児童養護施設の現状

## 地方選へダッシュ

2011年は4月に県議選、市議選が行われます。

1月8日は、渡辺ゆり子事務所びらきが行われ、各



<上> ゆり子事務所に設置された大型看板  
<下> 事務所びらきで決意表明するゆり子県議



分野の方々から激励の言葉を頂き、身の引き締まる思いです。8、10日の連休は、それぞれ山形市議団のみなさんと組んで街頭からの政策宣伝行動を行いました。各地域・諸団体の新春のつどいや旗びらき、そして日本共産党も地域後援会や各種集会などが持たれ、通常の新年行事に加えて地方選の取り組みが本格始動しています。

## 児童養護施設について



「タイガーマスク伊達直人」を名乗る善意の寄付の報道が相次いでいます。人の心の暖かさをあらためて思うと同時に、児童養護施設に対する関心が少しでも高まる機会になればと思います。複雑化する社会の中で、困難を抱えた入所児童が多くなっていることです。

それぞれの要保護児童に合ったケアが必要とされ、関係者からは、以前から人員配置や支援の充実を求める要望が出されてきました。それこそ、国や自治体が必要とされるべきです。国でも施設で働く児童指導員や保育士の配置基準を見直している方向と報道されていますが、真に現場の実態に合ったものとなるのかどうか、注視していきたいと思っています。また、児童養護施設の運営がよい方向に改善できるよう、引き続き関係者と力を合わせていきたいと考えています。

